

1 学校教育目標

- 明るく元気な子 礼儀正しいあいさつ・運動習慣・正しい生活習慣を身に付け、心身ともに健康で安全な生活を送ることができる子ども
- ◎ 自ら考え学び合う子 教科学習、読書、体験的な活動、地域の人々との関わり、様々な体験による学びを通して、考えを深めることができる子ども
- 仲よく助け合う子 他者への優しさ、協力の大切さに気付き、助け合い、信頼関係を深めながら、よりよい人間関係を築こうとする子ども

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	明るく、楽しく学びがいのある学校	安全・安心で信頼できる学校	地域に貢献する学校	夢の実現をめざす学校
○児童・生徒像	㊤かよく助け合う子ども ㊦んばりへこたれない子ども ㊧ことん考え学び励む子ども			
○教師像	子どもと共に歩む教師 創造し、実践する教師 常に学び成長する教師 和を尊び協働する教師			

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校】「学びがいのある学校づくり」

- 開校60周年の節目、地域・保護者との交流を通じて、本校の教育的使命である「地域と共に歩む学校」を児童、教職員ともに実感することができた。
- 一人一人の児童が、安心して学校生活を過ごし、充実感や達成感を味わえるように、教育活動・学習指導の充実に努めた。
- 教師自らが研究と修養に努め、特に、学習指導力の向上の意識を各自が持ち続けて実践し、児童の望ましい学習・生活・運動・読書習慣の定着に向け、全学年共通実践を行うこと。

【児童】「個別の状況を把握し、その子に応じた指導・支援を行う等、一人ひとりを大切に育む」

- 素直に何事も取り組む児童が多く、明るく元気に挨拶をする習慣が身に付きはじめている。
- 学びへ丁寧さが着実に育まれ、その成果が結果に結び付くようになっている。
- 友達に対しての口調や言葉の選び方をはじめ、相手や場に応じた正しい言葉遣いを使えるようにしていくこと。

【保護者・地域】「家庭・地域と連携し、共に歩む」

- 学校の教育活動に対して理解を示し、信頼して子どもを学校に通わせている。
- PTA・地域は、学校と共にこの難局を乗り越えていこうと一致協力体制を組み、学校行事や地域行事に取り組んでくださっている。
- 一人ひとりの子どもの成長に向け、それぞれに抱える課題に向け、情報交換を大切にし、連携して対応する。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	◎	○	○
2	児童理解に基づく、生活指導・特別支援教育の充実	◎	◎	○	○	○
3	安全・安心な学校づくりと学校における豊かな体験活動の充実	○	○	○	○	○

5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習習慣の定着 タブレットPC活用の充実 児童の読書の習慣化 		全学年 全教科 目標通過率目標 85% 児童の読書実態の向上 (児童一人あたりの貸出冊数の増加)				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	学習習慣 の定着 (自学自習)	全学年 全教科	日常	学年の発達段階に応じて、全学級が保護者と連携して、学習の習慣化を図る。	学力調査(意識) 保護者アンケート 教員による評価	実態把握 90% 以上の実施率	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
	読書指導の 充実	全学年 国語	日常	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館を活用した授業実践を各学年2事例以上実践する。 全教職員による読み聞かせの毎月実施等、読書指導の充実を図る。 	各学級の貸出実績 児童の意識調査	児童の意識調査 の肯定的回答 90%以上			
	AI型教材を 活用した学 びの個別最 適化	全学年 全教科	日常	<ul style="list-style-type: none"> 授業の導入・展開・復習の場面で活用する。(習熟度を上げる) 一人一人に習熟に応じた指導を行う。 	学習データの確認 (学力調査結果・ AIドリル使用率)	各単元の習熟度 90%以上			
	教員の学習 指導力の向 上	全学年 全教科	日常・ (6・9・ 11月)	管理職が授業観察と評価及び全教員への指導・改善の指示。年間3回実施。(自己申告面接時)	2月学力調査テスト結果 各教員の自己評価	国語・算数通過率 85%以上			
	各教科・ 領域の指導 時数確保の 徹底	全学年 全教科	月毎	教務主任が目標数値と照らし合わせ、計画通りの時数実施を確認する。	時数報告用紙	月毎に 90%以上 の計画実施率の 確保			
	指導力向 上中核校 研究推進	全学年 国語科	研究授 業年間 3回	読みの力を身に付けるための実践的研究を行う。 研究過程や研究成果等の情報発信を行う。	講師・指導主事等の 指導・助言情報発信 実態把握	児童の詠むことの 正答率 90%以上 他校教員参観の増加			

重点的な取組事項－２		児童理解に基づく、生活指導・特別支援教育の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
<ul style="list-style-type: none"> 安定した登校実態の実現 いじめの早期発見・早期対応 		不登校／登校渋りの児童数の割合の減少（昨年度比） いじめの未対応・重大事態 0 件	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
不登校の早期発見・対応	不登校／登校渋り実態の改善	実態把握と早期対応 保護者との面談・連携 SC・SSW の活用した教育相談	自己評価の際に記入		
特別な支援を要する児童への早期対応	支援や配慮を要する児童への支援率 100%	校内研修会の実施（3回） 校内委員会の充実（定期・随時） 迅速なケース会議の実施（関係機関等との連携）			
いじめの・不登校の早期発見・早期対応	<ul style="list-style-type: none"> いじめの解消率の上昇 重大事態の件数 0 不登校、登校渋りの児童への支援率 100% 	日々の学級指導・学級経営 定期的に実態把握（6・11月・2月） 校内生活指導連絡会における情報共有と共通実践			
WEBQU の活用 要支援群の指導改善	要支援群に属する児童の 80%以上改善（2月）	検査結果の分析・指導改善 校内研修会の実施（情報共有と共通実践の確認）			

重点的な取組事項－3		安全・安心な学校づくりと学校における豊かな体験活動の充実				
A	今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀正しいあいさつの習慣化 ・ 安全教育の充実 ・ 言語環境の適正化と教育環境の充実 	「学校に行くのが楽しい」自己評価90%以上 「あいさつをするなど、学校のきまりを守っている」 自己評価95%以上（意識調査） 各学年 安全教育（災害・交通安全）の確実な実施	自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み						
	項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
	子どもと教職員とのあいさつの習慣化 (安心できる学校環境づくり)	子ども・教職員の自己評価95%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登校時の全教職員であいさつ実施の徹底 ・ 挨拶運動の実施 ・ あいさつ等の善行者表彰 	自己評価の際に記入		
	安全な学校づくり 安全教育（災害安全・交通安全）の充実	子ども・教職員の自己評価95%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と連携した合同防災避難訓練実施等の体験的な防災教育の実施 ・ 交通安全・災害安全・生活安全の教育の実施 			
	学年・学級における言語環境の適正化と教育環境の充実	WEBQU「学級生活満足群」80%以上 人権を意識した言語環境の整備・取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の言葉遣いや、教室の掲示物に注意を払い、児童相互に人権を尊重して生活できるようにする。 ・ インターネット、スマートフォン等を利用する場合の責任や情報モラルについて家庭と連携を深める。 			
	地域と連携した魅力ある体験的な活動の展開	子ども・教職員の自己評価95%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のよさや日本の伝統文化を学ぶ。(生活科総合的な学習の時間) ・ 自分が暮らし育つ地域に愛着をもち、日本の文化や伝統を受け継ごうとする心を育む。 			
	保護者／地域への情報発信（安心）	HP継続的更新 必要時のメール配信 学校だよりの充実	児童の実態・指導内容の共有と迅速な情報の発信			